

優秀賞

リフォーム前後の写真

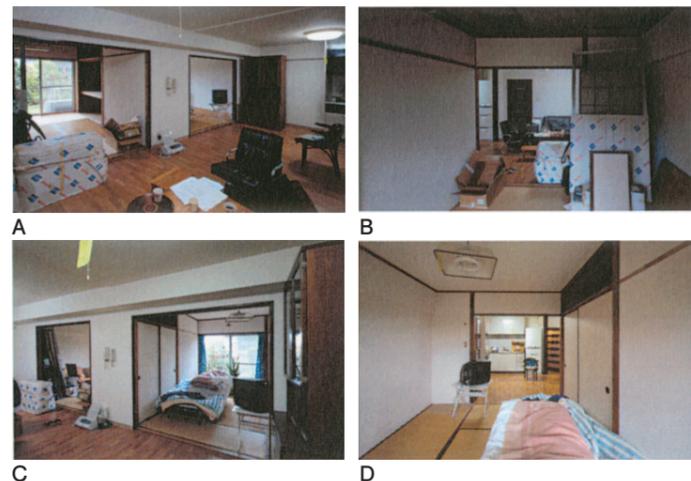
タイトル 築42年のビンテージマンションを終の棲家へ

タイプ 持家共同建

構造 鉄筋コンクリート造

講評

南の窓側に土間をとり、ワンルームのリビングダイニングの空間に小上がりの和室を組み込んで、スクリーンで仕切る提案。広さと明るさと庭とのつながりが生まれ、多様な生活場面に对应する。温熱環境も改善された。



①ブラインドで部屋に取り込む自然光をコントロールし、光あふれる豊かな暮らしを演出。



②室内に半屋外的な空間を作ることで、庭との連続性を創出。



③腰高の収納を壁に沿って設置し、収納力を十分に確保。



④土間にはレースカーテンを設置し光を拡散させ、室内を明るく。



⑤レース・土間・ブラインドと重ねることで、空間の奥行きを演出。



⑥リビングから開口まで見通すことができ、広がりのある空間となった。



⑦施主支給の天板によりPCデスクを作成した。



⑧既存の移動できない空調器具はルーバーで目隠し。



⑨リモコン操作が可能なように収納扉を一部ファブリックとした。



⑩将来仏壇の設置ができるように押入れの一部にスペースを確保している。



⑪和室の小上がりの下も収納として使えるようにした。

リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

- ・ご夫婦の“終の棲家”とするため、築42年のビンテージマンションのリフォームを行った。
- ・部屋の奥まで光の届かない小割りの間取りを解消するため不要な間仕切りを撤去。大きなワンルーム空間を作り出した。
- ・内外の中間領域として土間を設け、開口にレースカーテンを設置。レースが光を最大限に拡散させ、奥まで光が入るように工夫した。
- ・小上りの和室は寝室となるので、スクリーンや、木製ブラインドで緩やかに空間を区切れるようにした。状況に合わせて

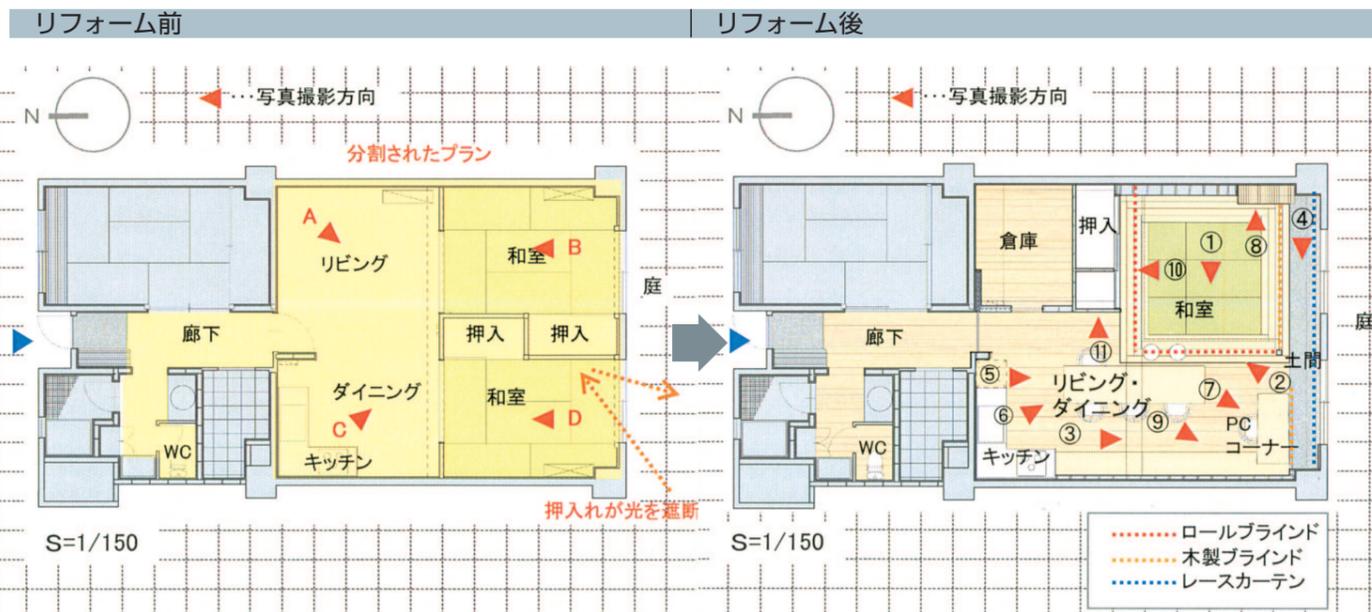
- ・様々な“居場所”が出来るので多彩な生活空間を演出することに成功している。
- ・人を家に招くのが好きな施主の要望により20人程度が集まる事が出来るよう3mのダイニングテーブルを製作した。
- ・施主が長年愛用していたタモの無垢板を収納棚と組み合わせPCテーブルを作成した。
- ・断熱性能を向上させるためにアルミサッシをペアガラスの高気密サッシへ変更した。
- ・劣化した設備配管を可能な限り交換し安全性を向上させた。

性能向上の特性
温熱性能／室内空気環境

特に配慮した事項
土間空間がダブルスキンとなり太陽光・空気環境・視線などをコントロール。さらに空間に奥行きと広がり感を創出。珪藻土や天然木を多用し、調湿機能を向上させた。

データ

所在地	兵庫県神戸市	築後年数	42年	施工期間	30 日間
該当工事面積	50 m ² ／総工事床面積	50 m ²	該当部分工事費	450 万円／総工事費	450 万円
居住者構成	15歳以上65歳未満： 2 人／65歳以上： 人／15歳未満： 人／ペット：				
設計会社	松浪光倫建築計画室	担当者	松浪 光倫		
施工会社	(有) R・K工務	担当者	荻野 和己		



リフォーム部位: 居室 台所 浴室 便所 洗面所 廊下 階段 玄関 エクステリア マンション共有部